

# 農業・農村の多面的機能とは

農業は私たち国民に大きな恵みをもたらします。

日本の農業・農村は、「食」を支えているだけでなく、今回紹介した国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承など様々な働きを持っています。

このような様々な働きを「農業・農村の多面的機能」といいます。この「農業・農村の多面的機能」は、日本国民の大切な“財産”であり、これを維持・発揮させるためにも、農業を継続する事が大変重要です。

農業・農村の多面的機能には、これまで紹介してきた機能以外にも様々な働きがあります。

## ▼そのほかの働き

### 暑さをやわらげる働き

田の水面からの水分の蒸発や、作物の蒸散により、空気が冷やされます。この冷涼な空気は周辺市街地の気温上昇を抑える効果もあります。



### 癒しや安らぎをもたらす働き

農村の澄んだ空気、きれいな水、美しい緑、四季の変化などが、安心とやすらぎを与え、心と体をリフレッシュさせます。



心安らく緑の空間

### 体験学習や教育の場としての働き

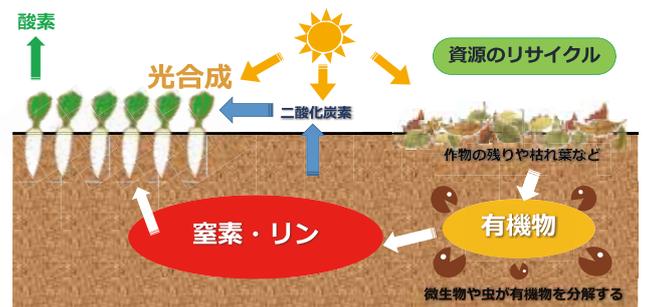
農村で、動植物や豊かな自然に触れることで、生命の大切さや食料の恵みに感謝する心が育まれます。



田植え体験

### 有機物を分解する働き

田畑の土の中にあるバクテリアなどの微生物は、家畜の排泄物や野菜のくずなどから作った堆肥（有機物）を分解し、作物が養分として利用しやすい形に変えます。



### 医療・介護・福祉の場としての働き

緑豊かな農村で、土や自然に触れ農作業を行うことは、高齢者や障がい者の機能回復に役立っています。



高齢者の生きがい作り

### 地域独自の知恵や技術を作り出す働き

生産と暮らしが一体化している農村社会では、地域独自の知恵や技術が作り出され、今日に伝えられ、農業の振興がその下支えとなっています。

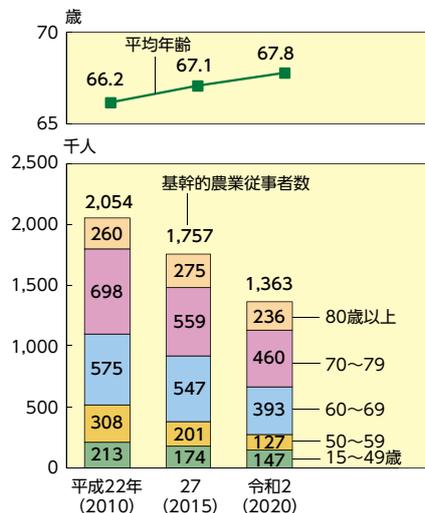


農家に代々伝わる郷土菓子「こうれん」を会員総出で手作り

## ▼農業・農村の現状について

### 基幹的農業従事者数と平均年齢

基幹的農業従事者の平均年齢は上昇傾向にあり、令和2年には67.8歳となっています。一方、基幹的農業従事者数は年々減少しており、同2年には136万3千人となっています。



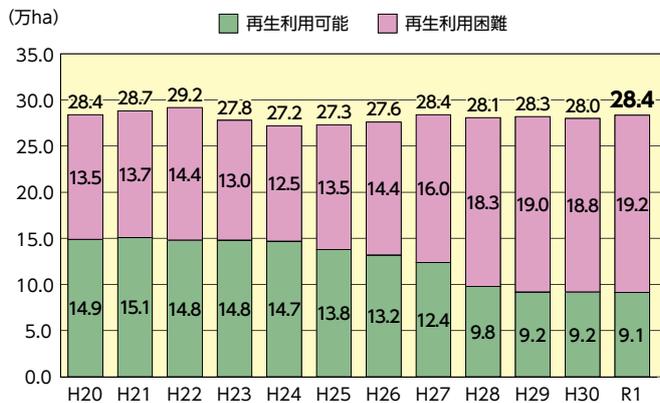
資料：農林水産省「2020年農林業センサス」、「2015年農林業センサス」（組替集計）、「2010年世界農林業センサス」（組替集計）

注1：「基幹的農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

2：各年2月1日時点

### 荒廃農地面積の推移

荒廃農地の面積は、令和元年には28.4万haであり、そのうち再生利用困難なものが19万2千ha（67.6%）と近年増加傾向になっています。



資料：農林水産省「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」

注1：「荒廃農地」とは、「現に耕作に供されておらず、耕作の放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地」。

2：「再生利用が可能な荒廃農地」とは、「抜根、整地、区画整理、客土等により再生することにより、通常の農作業による耕作が可能となると見込まれる荒廃農地」。

3：「再生利用が困難と見込まれる荒廃農地」とは、「森林の様相を呈しているなど農地に復元するための物理的な条件整備が著しく困難なもの、又は周囲の状況から見て、その土地を農地として復元しても継続して利用することができないと見込まれるものに相当する荒廃農地」。

4：四捨五入の関係で計が一致しない。

## ▼未来の農業のためにできること

### 農業・農村の多面的機能の維持・発揮を目的に

農村地域の高齢化、人口の減少などで、農業生産に伴う地域の共同活動などにより支えられてきた多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。このため、平成26年度から農業・農村の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対する支援制度「日本型直接支払制度」が始まりました。

#### ～日本型直接支払制度～

##### 多面的機能支払交付金

###### 【農地維持支払】

農業者等による組織が取り組む、水路の泥上げや農道の路面維持等の地域資源の基礎的保全活動や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化等、多面的機能を支える共同活動を支援します。

###### 【資源向上支払】

地域住民を含む組織が取り組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等の農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動や、施設の長寿命化のための活動を支援します。



水路の泥上げ

##### 中山間地域等直接支払交付金

中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正することにより、耕作放棄地の発生防止や機械・農作業の共同化等、農業生産活動を将来に向けて維持するための活動を支援します。

##### 環境保全型農業直接支払交付金

農業者等が実施する化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取り組みとセットで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取組む場合に支援します。



植栽活動



参考になるサイト **農業・農村の多面的機能**

検索

農林水産省 農村振興局 農村政策部 地域振興課 多面的機能班  
Tel:03-3502-8111(代表) <https://www.maff.go.jp/>



発行 令和2年5月  
増刷 令和3年9月